



放浪の歌人
宗 不 早

Sō Fukkan

明治 17 年 (1884) ~ 昭和 17 年 (1942)

熊本市生まれ

歌人

熊本医学校を中退して上京。窪田空穂の知遇を得て短歌を志す。のち、朝鮮・中国・台湾を10年間放浪、この間に中国の詩書を学び、硯作りの技を習得する。帰国後も各地を転々としながら歌を詠み、歌誌『あけび』、『短歌雑誌』に作品を発表。反俗の性格から、歌壇に背を向け、独自の歌境を深め、万葉調の格調高い歌を詠んだ。評論に『新釈柿本人麻呂集』、歌集に『筑摩鍋』『荔支』などがある。